



市議会だより



市議会だより

議会 日誌

7月

23日 総務常任委員会

27日 行財政改革調査特別委員会
全員協議会

30日 財田川防災組合議会

31日 防災対策調査特別委員会

8月

6日 議会運営委員会

8日 まちづくり調査特別委員会

9日 総務常任委員会

20日 防災対策調査特別委員会
全員協議会
議会広報委員会

議会議中継休止のお知らせ

高瀬庁舎への本庁機能移転に伴う調整のため、9月定例会・12月定例会の支所での議会議中継は休止いたします。

9月・12月定例会を傍聴される方は、高瀬庁舎「議場」までお越しください。

市議会だより

建設経済常任委員会研修

7月3日～5日

愛媛県今治市・山口県山口市
福岡県朝倉市・長崎県佐世保市

森林バイオマスエネルギーの活用に取り組んでいる事例として、山口県内にある民間企業の実証施設で研修を行った。具体的には未利用のままとなっている間伐材や竹材を乾燥し、ガスを発生させ、これを燃料としてガスエンジンを運転し発電を行うものである。現在、本市においても竹林の拡大防止や竹資源の有効活用が重要な課題となっているが、繁茂する竹林対策の一環として考えられる施設であり、「エネルギーの地産地消」の可能性も感じ取ることができた。

福岡県朝倉地域農業改良普及センターでは、博多万能ねぎ復活プロジェクト等について研修を行った。フライト農業の先駆者として他産地をリードしてきた朝倉市では、平成10年頃から単価と販売数量が落ち込むという危機的事態となった。これを改善するため普及センターでは、アンケートにより問題点を把握し、平成14年10月にプロジェクトを発足させた。これにより各機関の役割分担が明確化し、足腰の強い産地に生まれ変わった。当普及センター管内では市、普及センター・JA・生産者と非常に効率よく連携が取れてお

り、農業振興及びブランド化を推進していく上で大変参考となる研修であった。

長崎県栽培漁業センターは、重要魚介類の種苗を大量に生産し、放流用として県内の漁業者へ供給する栽培漁業の拠点として設置された施設である。当センターでは、沿岸漁業の水揚げが減少する中、漁獲高の確保を目指すとともに、高級新魚種の種苗生産や疾病伝搬等の予防技術の確立にも力を入れている。以上の様な魚介類を増やすための施策も、最終的には漁業者自身の取り組みが成功の鍵を握ることとなることから、本市においても啓発等の重要性を認識した研修であった。この他、今治市で「地産地消と地域農業の振興について」の研修を行った。



森林バイオマスエネルギープラン実証施設(山口市)

防災対策調査特別委員会視察

7月17日・31日

三豊市内各避難所

防災対策調査特別委員会では、7月17日及び31日に市内73カ所の災害時避難所の内43カ所の現地視察を実施した。これは、本格的な台風シーズンを前に各避難所の現状を把握し、水害・土砂災害ほか各種災害に対する安全度の調査や収容可能人員の確認を目的とするものである。当日は担当職員より施設の概要について説明を受け、各施設の管理者からも意見を聞くとともに、備蓄品の収納可能状況についても調査を行った。調査段階では、各委員より「避難所指定の一部見直しが必要ではないか」「早急に修理を要する箇所がある」「備蓄収納庫の整備が急がれる」等の指摘事項があった。

本年は去る7月14日から15日にかけての台風4号、8月2日から3日にかけての台風5号の通過に伴い、全国各地で大きな被害がもたらされたほか、7月16日には新潟県中越沖地震が発生するなど、本市においてもいくつか災害が起こった。当委員会としては残りの30カ所の避難所についても早急に現地調査を実施し、市民の皆さまの安全確保に取り組んでいく予定である。

三豊市議会だよりの発行・編集は

三豊市議会・議会広報委員会

〒767-0011 三豊市高瀬町下勝間2373番地 ☎73-3009